

さいたま市文化財時報

かや 権りぼーと

第 25 号

新指定文化財の紹介

さいたま市教育委員会は、平成19年3月30日付けで新たに3件の文化財を市指定文化財に指定しました。また、埼玉県教育委員会は、平成19年3月16日付けで新たに1件を県指定有形文化財に指定しました。これにより、市指定文化財は441件、国・県指定を含めた総件数は522件となりました。この他、国登録有形文化財が5件あります。(平成19年4月1日現在)



▲駒形権現神社須賀神社本殿



▲今羽ささら獅子舞獅子頭

新指定文化財一覧

種 別	名 称 ・ 員 数	所 有 者	所 在 地
市・有形文化財（建造物）	駒形権現神社須賀神社本殿 1棟	宗教法人吉祥寺	緑区大字中尾 1430番地3
市・有形民俗文化財	今羽ささら獅子舞天幕、獅子 頭及び天狗面 一括	今羽ささら獅子 継承保存会	北区今羽町
市・天然記念物	岩槻小学校のイチヨウ 1株	さいたま市	岩槻区本町2526番地2
県・有形文化財（建造物）	氷川女體神社社殿 1棟 付 寛文七年銘棟札 1枚	宗教法人 氷川女體神社	緑区宮本2丁目 17番地1

市指定有形文化財（建造物） こまがたごんげんじんじやま がじんじやほんでん
駒形権現神社須賀神社本殿

駒形権現神社須賀神社は、吉祥寺（天台宗別格本山）の参道西側にある小社です。明治時代初期には、無格社駒形神社として中尾村の権現山と称する地（現プラザイースト）にありましたが、祭神は明治41年に同村内にあった須賀神社とともに中尾神社に合祀されました。祭神のない本殿は、個人宅に移され、昭和37年には旧越谷県道（現在の国道463号線）改修にあたり、現在地に移して整備されました。

この本殿は、室町時代の建築と推定できる「流見世棚造」という構造の神社建築で、市内最古です。市内周辺に多く見られる桃山時代から江戸時代前期あたりにかけての「見世棚造」とは平面的に大きく異なり、構造様式の発達を知るうえで欠くことのできない建造物として指定しました。

＊駒形の地名＊

三頭の白馬像の御神体を持つ駒形神社は、「駒形」の地名の由来ともいわれる、「延喜式」に見られる御牧「立野牧」にかかわる神社と考えられています。近くには、「大牧」や「駒場」など牧場に関する地名も残っています。

市指定有形民俗文化財 こんぼ ししまいてんまく ししがしらおよ てんぐめん
今羽ささら獅子舞天幕、獅子頭及び天狗面

「今羽ささら獅子舞」に関わる天幕・獅子頭・天狗面などが指定されました。天幕及び獅子頭を納める箱には、幕末の「安政三辰年（1856）八月」の銘があり、この頃にはささら獅子舞が舞われていたことがわかります。また、「天神橋福嶋屋萬吉寄附之」ともあり、近在の「天神橋」という地名が記されています。明治時代以前の道具類としては、極めて保存状態が良く、指定しました。

＊今羽ささら獅子舞＊

昭和33年に市の無形民俗文化財として指定された「今羽ささら獅子舞」は、9月の秋祭に今羽町氷川神社・雷電神社で舞われていましたが、現在中断されており、平成19年3月30日残念ながら指定解除となりました。

市指定天然記念物 いわつきしょうがっこう
岩槻小学校のイチョウ

岩槻小学校の校庭中央に位置し、学校のシンボルとなってきた木です。高さは27メートル、幹まわりは約5メートルあり、市内では「真福寺のイチョウ」（南区別所・4ページ参照）に次いで2番目の太さです。枝ぶりなど景観上、非常に優れており、指定しました。

大正～昭和初期は、旧校舎の正面玄関の隣にあり、卒業写真の背景として度々使用されるなど、学校の歴史とともに、歩んできた木です。

＊市内のイチョウ＊

市内の市指定天然記念物のイチョウには、前記2件のほかに、「円蔵院の大イチョウ」（見沼区中川）、「十王尊の大イチョウ」（見沼区南中野）、浦和区瀬ヶ崎の「イチョウ」があります。



▲岩槻小学校のイチョウ

県指定有形文化財（建造物） ひかわにょたいじんじやしゃでん 氷川女體神社社殿

さんげんしやながれづくり 三間社流造の本殿とへいでん 拝殿が幣殿で結ばれた複合社殿です。本殿は、江戸時代前期の寛文7年（1667）に、4代將軍徳川家綱の命で、造営されました。おし 忍（行田）藩主の阿部忠秋を奉行として普請を行った旨が記された寛文7年銘の棟札も現存し、ともに指定されています。昭和51年に市の有形文化財（建造物）として指定しましたが、平成19年3月16日埼玉県指定となりました。これにともない、市指定は自動的に解除となりました。



▲氷川女體神社社殿

※これらの新しく指定された文化財は、他の文化財同様、常時公開されているわけではありません。マナーを守り、文化財の所有者や管理者、近所の方々、他の見学者や参拝者の迷惑とならないよう、お願いします。

市指定文化財の一部解除

天然記念物「日進のハナノキ」のうち1本（北側）は、平成19年3月30日に「枯衰」のため指定解除し、員数は「1本」となりました。

TOPIC

- 市指定無形民俗文化財「日進餅つき踊り」の保存会が、表彰されました。

5月25日に小鹿野文化センターにおいて、埼玉県文化財保護協会評議員会・研修会が開かれました。

平成19年度の優良文化財保護団体として、日進餅つき踊りの保存団体「日進餅つき踊り保存会」が表彰されました。昭和26年の創立以来、50年以上の実績があり、伝統芸能の保存と後継者育成の活動が評されました。



▲前列左から2番目鈴木正直会長
後列3名保存会の皆さん

- 市指定無形民俗文化財「砂の万灯」の保存会が、財団法人三菱UFJ信託地域文化財団の助成団体に選ばれました。

三菱UFJ信託地域文化財団が行う、伝統芸能の伝承や保存活動といった地域の芸術文化の振興に寄与する団体への平成19年度の助成対象に、砂の万灯の保存団体である「〔砂万灯・本村組〕万灯保存会」が選ばれ、公開のための山車の修理費用として助成を受けることになりました。

- 県指定史跡「岩槻藩遷喬館」の復原修理報告書ができました。

昨年オープンした「岩槻藩遷喬館」の復原解体修理をまとめた「埼玉県指定史跡 岩槻藩遷喬館 復原修理事業報告書」を刊行しました。平成13年度から17年度にかけて実施した解体修理・復原事業や、事業の一環である発掘調査の結果もまとめられています。市内の図書館・各区役所情報公開コーナーにて閲覧できます。

なお、遷喬館とそれを設立した児玉南柯に関する企画展「児玉南柯—唐船漂着事件と遷喬館—」が市立博物館（大宮区高鼻町）にて、7月8日まで開催中です。県指定文化財の「児玉南柯日記及び関係書籍」や市指定文化財の「〔漂客紀事〕版木」「児玉南柯遺品」も展示しています。（7月14日から9月2日まで、岩槻郷土資料館へ巡回展示、展示構成は異なります。）ぜひお出かけください。

お知らせ

市内各所で開催されるお祭に、指定文化財も参加します。また、当課主催の行事も予定していますので、ぜひお出かけください。なお、天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市のWebページをご覧ください。か、当課までお問合せください。

期 日	名 称	時 間	会場又は出発地	内 容 等
7月14日(出)	秋葉ささら獅子舞	10時～	中 釘 自 治 会 館 (西区中釘)	中釘自治会館を出発し、秋葉神社、三尺坊で獅子舞を披露
	宿の祭ばやし	13時～	大 久 保 神 社 (桜区宿)	大久保神社を出発し、桜区宿地区内を巡行
	神田の祭りばやし	14時～	八 雲 神 社 (桜区神田)	八雲神社を出発し、桜区神田地区内を巡行
	砂の万灯	16時～	八 雲 神 社 (見沼区東大宮)	7基の万灯が勢揃い (午後から順次組み立て、祭礼は16時から)
	田島の獅子舞	16時～	田 島 氷 川 社 (桜区田島)	田島の夏祭りの宵宮で、3頭の獅子舞を披露
7月15日(日)	駒形の祭ばやし	12時～	須 賀 神 社 (緑区中尾)	須賀神社を出発し、緑区中尾字駒形地区内を巡行
7月22日(日)	浦和まつり	14時～	中 山 道 浦 和 宿 (浦和区仲町他)	「木遣歌」、祭ばやし(宿・神田・駒形)、「仲町獅子王祭獅子頭」「浦和仲町の神酒榨」など
7月31日(火)	氷川女体神社の名越祓え	15時～	氷 川 女 體 神 社 (緑区宮本)	無病息災を祈る「夏越しの大祓え」
8月18日(出)	指扇の餅搗き踊り	18時20分～	指 扇 小 学 校 (西区指扇)	「指扇まつり」で、実際に餅を搗く「しんしろう搗き」をはじめとした踊りを披露
8月25日(出)	深作ささら獅子舞	16時～	深 作 氷 川 神 社 (見沼区深作)	春岡小学校ささら獅子舞クラブの子どもたちも練習の成果を披露
8月29日(水)	見沼通船堀閘門開閉実演	10時～ 13時～	見沼通船堀東縁閘門 (緑区大間木・下山口新田)	見沼通船堀東縁閘門を使って、東縁用水と芝川の水位差の調節を行う
9月15日(出)	岩槻の古式土俵入り	15時～	篠 岡 八 幡 大 神 社 (岩槻区笹久保)	笹久保地区で行われる古式土俵入りで、子どもたちが独特の振りで土俵入りする
①9月15日(出)～ 30日(日) ②10月3日(水)～ 8日(月) ③10月13日(出)～ 11月11日(日)	最新出土品展	①③ 9時～ 16時30分 ② 10時～ 21時	①市立博物館 (大宮区高鼻町) ②大宮駅西口共同ビル DOM1階特設会場 ③岩槻郷土資料館 (岩槻区本町)	昨年の秋以降、市内各所で発掘した出土品を展示(会場によって展示資料が若干変わります) 休館日 ①9/18・25・26 ②期間中無休 ③月曜・11/6
9月22日(出)	市内遺跡発掘調査成果発表会	13時30分～16時	市立博物館	市内の発掘調査結果をスライド等で紹介

文化財紹介

— 真福寺のイチョウ — 市指定天然記念物 (昭和33年指定)

南区別所の真福寺には、県内でも有数の大イチョウがあります。「真福寺のイチョウ」と呼ばれる雄樹で、高さ18.5メートル、幹まわりは5.85メートルあり、樹齢は数百年を経ていると思われます。枝が大きく広がり、美しい姿ですが、昭和54年の台風によって大枝が数本折れ、支えの工事を行っています。

真福寺は台地の先端にあり、このイチョウには「逆さイチョウ」の伝説が残されています。かつて海が入り込んでいた頃、船をつなぐため、イチョウの木杭を逆さに打ち込んでおいたところ、その杭が根付き枝葉を出したという話です。

最近、近隣の高層マンション建設で、イチョウを取り巻く風景もずいぶん様変わりしました。



▲真福寺のイチョウ

さいたま市文化財時報

樞りぼーと

第25号

平成19年6月29日

(編集・発行)

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 ☎048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>